

司会	①村上洋兄	②藤樫兄	③鷺沢兄
奏楽			
祈禱	①倉知兄	②高木美兄	
賛美	聖歌232番 (栄光の雲が宮に満ちて) (そば近くおらせたまえや)		
主の祈り			
聖書	① 使徒行伝5章12～16節 ②③ ローマ人への手紙1章8～18節		
音楽	① 新撰組 ②③ アサリオン		
メッセージ	① 「影」 柴田順一副牧師 ②③ 「苦しくなったら私の背中を見なさい」 大川従道牧師		
賛美	「カルバリ山の十字架」(献金・399番)		
頌栄	「ハレルヤ」 アーメン		
祝禱			

「義人はその信仰によって生きる。」
(ハバククニの四、ローマ一の十七)

石の枕

NHK大河ドラマで放映された「篤姫」の中で、心に残ったシーンがありました。(以下は工藤信夫著「医療の心、福祉の心」からの引用です。)

謹慎中の大久保利通の家を訪ねた篤姫が、厳しい経済事情を察して思わず自分のかんざしを差し出したところ、利通の母から厳しい一言が返されるのです。利通の母は丁寧に謝意を表し、しかし受け取れないことをきっぱりと宣言します。しかし、実情を知る篤姫は無理に受け取らせようとします。そこで、とうとう利通の母は、「そこまでおっしゃるなら申し上げます」と言って、「私たちは物乞いではありません。これでも、誇りというものがあります」

そのことばに圧倒された篤姫はことばを失って引き上げます。

家に帰った篤姫は、「人を傷つけてしまった」と言います。ところがそれを聞いた篤姫の母は、「傷つけた」と考えること自体、あなたのおごりだ、と喝破します。

ドラマではありませんが、私は、その当時の日本人にはこんな凛とした精神性がしっかり根づいていたのだと、いたく感動してしまいました。

私大川もこのあたりは心にひかかり、人間学の専門家としては、日本人であっても日本人の深層を理解するむずかしさを感じました。この本の結論的表現を紹介します。ある人の発言です。「送り手側の自己満足にならないように、受ける側の負担にならないように、それでいて、本当に必要なところに手が届く射た支援でないといけない」

東日本の方々への支援も、深い理解のもと、主の愛をもって実践しましょう。

生まれてこのかた 70年
想定外の出来事です
主の恵みを忘れずに ベストを尽くしてお仕えします

生きることは 人間の義務 少し重いなあ
生きることは 楽ではないが 楽しいこと
そう信じると 不思議な力が 湧いてくる

【大和ニュース】

- ・ 受洗おめでとうございます。①高瀬真琴姉(エステル会) ②後藤真己姉(学生会) ③田中愛姉(青年会)
- ・ 本日、SSキャンプ準備会、ウラカターズBBQ、J.PLUS、役員会等あり。
- ・ 今週も祈禱会を大切に！ 聖餐式。説教は大川牧師。水曜夜と木曜朝。
- ・ 福音礼拝は、今月はビデオ礼拝となります。火曜昼2時半。レインボールーム。
- ・ 準備祈禱会は、金曜夜9時～10時半。説教は大塚伝道師。
- ・ 週末礼拝は、土曜夜6時～6時59分。説教は佐々木補教師。
- * 今年の「愛修会」には、大いなる期待をもってお申込み下さい。定員250人。申込金は2,000円。9月23日(金・祝)と24日(土)、御殿場の東山荘。
- * ご婚約おめでとうございます。中尾健志様と後山知子様。第3礼拝後。
- * 教会員で「金婚式・銀婚式」を迎えられる方は、スタッフまで申し出て下さい。

宿題(祝大) 今週もむさぼるように聖書を読みましょう！

Aコース:ローマ1章～7章 Bコース:詩篇62篇～78篇